

鎌ヶ谷市教育委員会会議録

令和元年10月定例会

- 《1 期 日》 令和元年10月30日（水）
開会 午後2時00分
閉会 午後3時30分
- 《2 会 場》 総合福祉保健センター4階会議室
- 《3 出席者》 皆川 征夫 教育長
奥村 さかえ 教育長職務代理者
住石 英治 委員
石川 宏貴 委員
- 《4 欠席者》 皆川 準一 委員
- 《5 出席職員》 笠井 真利子 生涯学習部長
狩谷 昭夫 生涯学習部参事（事）文化・スポーツ課長
斉藤 実 生涯学習部参事（事）市民会館長
小川 宏宜 生涯学習部副参事
関根 延年 生涯学習部副参事（事）学校教育課長
崎田 浩史 教育総務課長

岩 松 昌 弘 生涯学習推進課長

関 正 人 教育総務課長補佐

萩 原 美 恵 教育総務課主査

《6 議案事項》

議案第1号 令和元年度教育費12月補正予算について

議案第2号 鎌ヶ谷市図書館協議会委員の委嘱について

《7 報告事項》

報告第1号 教育委員会の点検・評価（平成30年度対象）について

報告第2号 第12回中学生ワカタネ派遣事業について

報告第3号 第40回中学生弁論大会について

報告第4号 鎌ヶ谷市スケアードストレイト交通安全教室について

報告第5号 令和元年11月の行事予定について

報告第6号 学校の近況報告について（指導）

報告第7号 学校の近況報告について（管理）

《8 傍聴者》

1名

《傍聴人入室》

教 育 長 本日の出席者は4名であります。定足数に達しておりますので、ただ今から、鎌ヶ谷市教育委員会10月定例会を開会します。なお、皆川準一委員は欠席のご連絡をいただいております。

本日の定例会会議録署名委員については、住石委員を指名します。

傍聴人にお願ひがあります。係員から配布されました傍聴に関する注意事項を遵守のうえ、傍聴されますようお願ひします。

本日の審議案件について、事務局の説明をお願ひいたします。

教育総務課長 本日の審議案件は、議案事項2件、報告事項7件です。よろしく、ご審議の程お願ひします。

教 育 長 議案第1号の審議に入る前に、議案第1号「令和元年度教育費12月補正予算について」は、市長に対する意見の申出を必要とする事項です。議案第2号「鎌ヶ谷市図書館協議会委員の委嘱について」は、人事案件であります。報告第6号「学校の近況報告について（指導）」及び、報告第7号「学校の近況報告について（管理）」は、個人に関する情報を含む事項であります。よって、これらの案件につきまして、鎌ヶ谷市教育委員会会議規則第13条の規定により非公開とすることについてお諮りします。議案第1号、議案第2号及び報告第6号、報告第7号を非公開とすることにご異議はございませんでしょうか。

各 委 員 異議なし

教 育 長 ご異議がございませんので、議案第1号、議案第2号及び報告第6号、報告第7号を非公開といたします。

《これより非公開》

議案第1号「令和元年度教育費12月補正予算について」、議案第2号「鎌ヶ谷市図書館協議会委員の委嘱について」はご異議なしと認め、

原案のとおり可決されました。

《ここまで非公開》

教 育 長 非公開案件が終了しましたので、傍聴人の臨席を許可します。

《傍聴人着席》

教 育 長 以上で、議決事項を終了します。
それでは、報告第1号から第7号について報告を求めます。

【報告事項】

教育総務課長

報告第1号「教育委員会の点検・評価について」

教育委員会の点検・評価につきましては、教育委員会委員の皆様と、令和元年7月12日開催の検討会を経まして、教育委員会7月定例会の中で議案としてご審議をいただきました。その後、学識経験者の意見を踏まえ、原案として決定したいと考えております。

学識経験者につきましては、昨年度同様、聖徳大学の神谷准教授と、今年度から新しく、秀明大学の荒井准教授にお願いしました。学識経験者のご意見につきましても、資料として添えさせていただいております。

学識経験者の意見を踏まえ修正した部分につきましては、ご説明させていただきます。27ページのスポーツ施設の整備・充実、3の実施結果・成果欄に、学識経験者からアーチェリー矢の飛び出し事故とあるが、事故防止の徹底は常に図っていただきたいというご指摘をいただきました。このことにつきましては、「防止策として、のれん状ネットの増設と天井に開閉式のネットを増設します」という一文を加えました。

35ページの歴史・文化遺産の保存・継承・活用の推進、4の課題、今後の取組み欄に、常設ガイドボランティアにより民具に実際に触れ、資料をより深く理解する体験型の展示を実施しています。特にゼンマイ式の蓄音機は子どもには新鮮な体験として、ご高齢の方には懐かしい体験として好評ですという一文を加えました。これは、学識経験者から、歴史・文化遺産は市民の物であり、市民の関心を高める工夫が必要であ

るということから加えさせていただきました。なお、今年度は、予算の関係上企画展は実施しませんでした。代わりにミニ展示を3回実施しました。

39ページの地域とともに育つ特色ある学校づくり、4の課題、今後の取組み欄に、第五中学校のビブリオバトルをさらに市内中学校へ広めるため、学校図書館司書研修で取組みや実施に向けた校内体制等の情報共有を図りますという文言を追加しました。これは、学識経験者から第五中学校で行われている、全校ビブリオバトルが少しずつでも全市に広がっていくことを願うということから加えさせていただきました。

最後に、児童・生徒の安全確保、4の課題、今後の取組み欄に児童生徒自らが身を守るための安全意識を高めることを目的とした安全指導では、児童生徒の防犯意識を高める指導や被害に遭ったときの対応などが盛り込まれている安全指導マニュアルの活用を各小中学校で推進するなど、第三次通学路安全対策推進行動計画に基づいた取組みを実施しますという文言を追加しました。これは、子どもが犠牲となる事件や事故の増加に鑑み、具体的な被害防止策の工夫が求められておりということから加えさせていただきました。

この内容で決定させていただきましたら、この後、鎌ケ谷市議会令和元年12月会議で報告をした後、市のホームページで公表する予定をしております。

学校教育課長

報告第2号「第12回中学生ワカタネ派遣事業について」

第12回中学生ワカタネ派遣については夏休み中に行われ、その後の報告会を令和元年10月5日に市役所の団体研修室で開催しました。

今年度は、次代を担う中学生を姉妹都市であるワカタネに派遣し、交流を通じて地域社会に貢献できる国際性豊かな人材の育成と、鎌ケ谷市とワカタネ地区の友好親善の推進を図ることを目的に行われ、市内各中学校から推薦を受けた5名の派遣生徒が報告をしてくれました。報告会では、生徒一人ひとりが派遣を通して気づいたことや学んだことについて、パワーポイントを用い、英語と日本語を交えながら披露してくれました。顔見知りのALTと日本語を交えながら話をする生活とは違い、英語しか通じない環境下で話をすることに対し非常に緊張をしたようでした。そのため、コミュニケーションがとれたときにはとても嬉しかった。

たという話が一番多く出ておりました。ラグビーのワールドカップの開催時期と重なったこともあり、オールブラックスの話題も出ながらニュージーランドという国に大変興味を持ったようです。先住民であるマオリ族と後から移民してきた方がお互いに尊重されていることにも大変感銘を受け、多文化共生の考えや自然との付き合い方、国際社会や文化の礎、多様性の理解について学んできた様子が伺えました。今後は、各学校で広げていただく活動をしていただき、自校の仲間や次世代へ伝えていくことへの決意を新たにしました。

学校教育課長

報告第3号「第40回中学生弁論大会について」

令和元年10月24日に令和最初となる第40回鎌ヶ谷市中学生弁論大会を市教育委員会、鎌ヶ谷ライオンズクラブ共催できらりホールにて行いました。今年も市内5校から選出された10名の弁士が自分の思いや考えを熱く語りました。

控えめなパフォーマンスが目立った昨年度と違い、本年度はマイクを使わず肉声で発表する弁士や、声の強弱、抑揚、声色を工夫し、あたかも目の前にその光景が浮かぶかのような表現をする弁士など、実に聞き応えのある発表が多く見られました。内容も家族が車いすになって初めて気づいた障がい者への小さな配慮や、コミュニケーションが下手な日本人に、世界の人とコミュニケーションの輪を広げることによって世界の関係が深まるから、臆せずもっとコミュニケーションを取っていこうと語ったフィリピンから見た日本、近年増加の一途をたどる自殺を切り口に、自然災害による死を防ぐことは難しいが、いじめという人災による自殺はなくすことができる、そのために自分にできる努力や協力は惜しまないと語った命と向き合う、周囲に進められて安易な気持ちで部活動を選択したために挫折してしまった苦い経験から、二度と後悔しないために自分の責任で決めていく決意を述べた挫折と選択など、多種多様なテーマの主張が展開され、昨年度や一昨年と比べますと、質的なレベルアップが図られたと感じました。

弁論大会とは、発表の声の強弱や表現力も加味されますが、一番大きいのは、論旨が一貫しているか、聞いている方が内容を理解でき、心が動かされるかが大事なポイントとなっており、最優秀賞には、鎌ヶ谷中学校の金井まどかさんの赤いバトンが選出されました。テーマは献血に

関することで、大好きな祖父が白血病を患い、高齢のため化学療法が受けられなかったとき、輸血によって祖父の痛みが和らぎ、もう一度家族で過ごす時間をもらえたことから、献血への見方が変わったことを語ってくれました。祖父は亡くなってしまったけれど、優しいだれかが祖父に大切な血を、赤いバトンを渡してくれたから、最後まで祖父と楽しく過ごすことができ、自分も家族もこんなにも心が救われた。祖父につながった輸血のパックから落ちる血液を見る度に、一滴一滴が誰かの優しさの結晶のように思えた語り、だからこそ、一人でも多くの人に献血に関心を持って欲しいと訴える金井さんの言葉は会場にいるすべての参観者の胸に響きました。

本年度は多くの来賓にも出席いただき、歴史あるこの大会をご覧いただくこともできました。また、この大会を楽しみにして毎年欠かさず足を運んでくださる市民の方々もいらっしゃいました。昭和、平成と続いてきたこの大会が、令和の時代も長く開催されるよう、次年度もさらに盛会となるよう取り組む予定です。

生涯学習部副
参事

報告第4号「鎌ヶ谷市スケアードストレイト交通安全教室について」

10月2日、第三中学校において、令和元年度鎌ヶ谷市スケアードストレイト交通安全教室を行いました。

スケアードストレイトとは、自転車による交通事故の多い中学生を対象として、スタントマンによるリアルな交通事故を再現し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践させることで中学生の交通事故の抑止につなげようとするものです。市内5校の中学生が在学中に1回は参加できるよう、平成25年度から計画的に実施しています。

スタントマンによるスケアードストレイトでは、時速40キロメートルでの衝突の衝撃、自転車の見本走行による違反行為の確認、車両の死角による巻き込み、大型車の内輪差による巻き込み、自転車の危険運行為、一時停止違反による事故が実演されました。生徒たちは、歩行者及び自転車、自動車による仮想事故再現を目の当たりにし、事故防止について考える良い機会となりました。生徒会長によるお礼の言葉では、「事故の場面を実際に見たことで、想像していたよりも、さらに事故の危険さや恐ろしさを感じました。今回見た事故の例は、だれにでも起こるということを胸に刻み、今後、生活をしていきます」との感想があり

ました。

教育総務課長 報告第5号「令和元年10月の行事予定について」、資料に基づき説明を行いました。

教 育 長 報告第1号から報告第5号までの質問等はございますでしょうか。

住 石 委 員 報告第1号、教育委員会の点検・評価39ページ、ビブリオバトルをほかの中学校にも広めていきたいと記載がありますが、第五中学校での成果を教えてください。

学校教育課長 学校図書館の貸出し冊数が増えていることは確かであります。子どもたちは、自分の興味のある本しか借りないという現状がありましたが、ビブリオバトルを行うことになってから、ほかの生徒がお薦めした本の貸出しも増えているということを学校から聞いております。

住 石 委 員 ビブリオバトルはどのような範囲でいつ行っておりますか。

学校教育課長 図書館司書も入り、主に国語の授業中にクラス単位で実施しております。

住 石 委 員 教育委員会の点検・評価35ページ、郷土資料館の常設ガイドボランティアについてですが、毎週土曜日、日曜日のイベント時に常設展示の解説を行うガイドボランティアと記載がありますが、学校が郷土資料館へ見学の際にも活用することはできるのでしょうか。

文化・スポーツ課長 学校見学の際は、市の学芸員が対応している状況であります。

奥 村 委 員 報告第5号、11月2日の教育長のご予定で、松戸法人会の3市合同ミュージックフェスティバルについて、初めてお聞きした行事であると思うのですが、どのような内容の公務なのでしょうか。

教 育 長 税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し地域振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として、社会貢献活動の一環として行っており、松戸市、流山市及び鎌ヶ谷市の中学校で、特に音楽で活躍された学校が集まり、発表の場を設け生徒の育成の一助を担う目的で昨年度から松戸市の森のホール21で合同発表会を実施しているものです。

奥 村 委 員 鎌ヶ谷市からはどこの学校が出場しますか。

学校教育課長 第二中学校の吹奏学部、ギター部と第四中学校の吹奏学部が出場します。

《これより非公開》

学校教育課長 報告第6号「学校の近況報告について（指導）」、報告第7号「学校の近況報告について（管理）」について、報告がありました。

《ここまで非公開》

なければ、以上で、報告事項を終了します。
本日の定例会における報告事項については、すべて終了いたしました。
鎌ヶ谷市教育委員会10月定例会を終了いたします。

鎌ヶ谷市教育委員会会議規則第32条の規定に基づき署名する。

令和元年12月18日

教育長 皆川 征夫

教育委員 住石 英治

作成者 萩原 美恵